

ことに生きる

社会福祉法人 七峰会



ごあいさつ

社会福祉法人 七峰会

理事長 相馬 慶七

早いもので、我が七峰会が、国・県はもとより、地域の皆様に絶大なる御支援により、精薄施設拓光園を創立してより、五年の歳月が流れました。

この間、拓光園一号館、二号館、拓心館、職業訓練棟、山郷館と矢継早に建設、重度精薄、重度身障など恵まれない人達のため、できる限りの努力をして参ったのでありますが、何しろ無経験の私共は何をやるにも手探りで、どれだけ当局のご指導を仰いだことでしょうか。

だが有難いもので、五年の歳月はどうやら一人立ち出来るようにしてくれました。そして彼等が何を一番望んでいるのか、どうしてやるのが正しいのか、やっとその本質をつかむことができるようになったのであります。

私の若いときからの夢はこうでした。人間この世に生まれて来たからは、何かこの世の為になる仕事を残したい。少しでも人の喜ぶことをして一生を終りたい。そして、そうすることこそ価値ある人生であり、生き甲斐でもある、ということでした。

だが、まだ、その目的が全うされたわけではありません。今迄出来たこの施設を有効に生かし、収容者の人達の本当の幸せをこれから築かなければなりません。

しかしこれは大事業なのです。私一人の力ではどうにもなるものではありません。

どうか、地域の皆様の温かいご理解と、同志諸君のご協力を切にお願い申し上げますと共に、今まで私共にご厚情を寄せられた篤志家の皆様に対し心から感謝の意を表すものであります。